

東京バッハ合唱団 クリスマス教会コンサート

<日本語上演>

カンタータ第167番《主の愛を讃えよ なれら》

„Ihr Menschen, rühmet Gottes Liebe“ BWV167

《クリスマス・オラトリオ》第4部～第6部

Weihnachts-Oratorium BWV248 IV-VI

■カンタータ第167番《主の愛を讃えよ なれら》

[洗礼者ヨハネの祝日(6月24日)用]

1. アリア(T)：主の愛を讃えよ なれら
2. レチタティーヴォ(A)：頌めよ イスラエルの主 神を
3. 二重唱(S/A)：神のみ言葉 偽りあらず
4. レチタティーヴォ(B)：時満ちて 人の子生まれぬ
5. コラール：父・み子・み霊を 頌め讃えまつらん

■《クリスマス・オラトリオ》第4部「ささげん 頌め歌を」

[新年=キリストの割礼と命名の祝日(1月1日)用]

36. 合唱：ささげん 頌め歌を
37. 福音史家(T)：八日満ちたれば
39. アリア(S/Echo)：わがイエスよ ながみ名は
42. コラール：イエス われを正し

■《クリスマス・オラトリオ》第5部「栄光を 主に歌わん」

[新年後の初めの日曜日用]

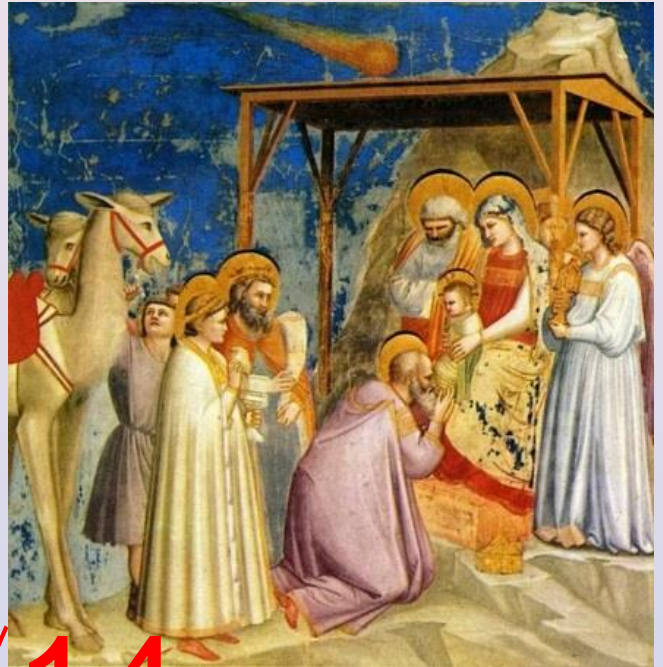
43. 合唱：栄光を主に歌わん
44. 福音史家(T)：イエスはヘロデ王のとき
45. 合唱とレチタティーヴォ(A)：いずこ生まれし ユダヤの君は？
/ 求めよ彼を わが胸の奥深く
46. コラール：暗き夜はいま み光に吞まれぬ
48. 福音史家(T)：これを聞いて ヘロデは怖る
49. レチタティーヴォ(A)：いかで怖れん？
50. 福音史家(T)：ヘロデは 民の祭司長 学者らを集めきたり
52. レチタティーヴォ(A)：主は統(す)べたもう
53. コラール：雅びの広間にも あらざるなれど

■《クリスマス・オラトリオ》第6部「主よ 驕れるあだに」

[顕現日(1月6日)用]

54. 合唱：主よ 驕(おご)れる敵(あだ)に
55. 福音史家(T/B)：ヘロデ ひそかに博士らを召し
/ 「行きて 幼な子を」
56. レチタティーヴォ(S)：偽りものよ 主に向かい
57. アリア(S)：ひとたび み手の動かば
58. 福音史家(T)：博士ら 王のことばを聞いて行きぬ
59. コラール：なが傍(かた)えに立たん
60. 福音史家(T)：博士ら夢にて み告げをうけ
63. レチタティーヴォ(S/A/T/B)：死の怖れは消え
64. コラール：あだは今しも退けらる

● かれら星を見て
喜び満ち 家に入り
て マリアとともなる
御子を見たり。
かれら そを伏し拝
みて 携え来たる宝
の箱をばささげぬ。
58. 福音史家(T)



2019年

12/14 [土] 二部公演

■会場[A] 14:00 開演：日本キリスト教団 荻窪教会

(13:30 開場。JR 中央線/地下鉄丸ノ内線「荻窪」駅南口より徒歩 8 分、裏面に地図)

■会場[B] 18:30 開演：日本キリスト教団 三崎町教会

(18:00 開場。JR 総武線「水道橋」駅東口より徒歩 3 分、都営地下鉄三田線「水道橋」A1 出口より徒歩 4 分、裏面に地図)

<演奏>

ソプラノ 光野孝子 ソプラノ・エコー 石井百合子 (団員)

テノール 鳥海 寮

管弦楽 コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン

オルガン 新妻 由加

合唱と斉唱 東京バッハ合唱団

訳詞/指揮 大村 恵美子

両会場とも **入場無料** (自由募金あり)

- ・予約者優先：定員になり次第、締め切ります
- ・予約申込み：なるべくメールをご利用ください
- ・受付開始：2019年10月1日より
- ・定員：会場[A] 100名、会場[B] 200名
- ・申込み(問合わせ)：東京バッハ合唱団事務局
office@bachchor-tokyo.jp (03-3290-5731)



[主催] 東京バッハ合唱団 <http://bachchor-tokyo.jp/>

[共催] コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン

[協賛] 日本キリスト教団荻窪教会



■光野孝子 ソプラノ (みつの・たかこ)

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006年ライブツィヒ・バッハフェスティヴァルに、樋口隆一指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の声乐指導のほか、合唱指揮の分野でも活躍中。二期会会員。



■鳥海 寮 テノール (とりうみ・つかさ)

東京学芸大学芸術課程声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中よりオラトリオ、カンタータ等のソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演。特にバッハ作品が多く、柔らかい声と表現力は着実に深みを増している。合唱指揮者、ヴォイストレーナーとしても活躍。現在サレジオ小学校音楽科教諭、日本声楽発声学会会員。



■新妻由加 オルガン (にいつま・ゆか)

東京藝術大学・同大学院、およびバーゼル市立音楽院古楽科スコラ・カントルム修了。ソロ演奏のほか、通奏低音奏者として古楽器奏者や合唱団との共演・助演で活躍。2014-2017年にスイス・ソロトゥルン州カトリック教区でオルガニストを務めた後、現在日本聖公会聖マARGARETT教会オルガニスト、アンサンブル室町メンバー。



■大村恵美子 主宰/訳詞/指揮

東京藝術大学楽理科・作曲科卒業。ストラスブール大学と同音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962年帰国とともに合唱団設立。バッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、順次刊行中。多くは自らの指揮で上演している。著書・訳書多数。現在「バッハ・カンタータ日本語版楽譜全集」刊行中(既刊78曲)。

■コレギウム・アルモニア・スペリオレ・ジャパン 管弦楽

略称ARS。2018年に誕生した演奏家のための“研鑽団体”(Collegium)。経験豊富な演奏愛好家と音楽専攻を目指す学生を対象に、緊密なアンサンブルによる“よりよき響き”(Armonia Superiore)の追及を目的とし、マスタークラスや演奏会実践形式での研鑽を実施している。メンバーは本年8月、当合唱団の小布施|野尻湖コンサートツアーでも協演。



▲ARSメンバー(写真中央の器楽奏者4人)と東京バッハ合唱団(2019/8/1、おぶせミュージアム・中島千波館[写真提供]、長野県小布施町)

■東京バッハ合唱団 合唱

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での200回を超える公演を、主に大村恵美子の指揮で行っている。国内では日本語上演(同人訳詞)を原則とする。ドイツを中心に海外巡演も5回を数える。3年後に創立60周年を迎える。



▲第118回定期演奏会[この日の伴奏は東京カンタータ室内管弦楽団](2019/5/18、府中の森芸術劇場ウィーンホール[写真提供:パラビジョン])

<会場へのアクセス>

会場[A]: 日本キリスト教団 荻窪教会

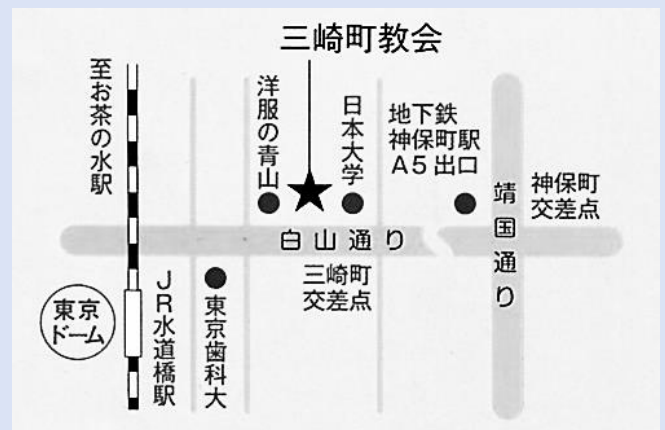
〒167-0051 杉並区荻窪4丁目2-10
電話 03-3398-2104



- 電車でお越しの方へ
- ・JR中央線/東京メトロ丸の内線「荻窪駅」下車、南口より<南口仲通り商店街>、徒歩8分。
- ・ご年配の方には、「荻窪駅」南口よりバスが便利です。どの路線も「荻窪高校」下車、徒歩2分。
- 駐車場の用意はございません。

会場[B]: 日本キリスト教団 三崎町教会

〒101-0061 千代田区神田三崎町1丁目3-9
電話 03-3295-4471



- 電車でお越しの方へ
- ・JR総武線「水道橋」駅[東口]より徒歩3分。
- ・都営地下鉄三田線「水道橋」駅[A1]出口より徒歩4分。
- ・都営地下鉄三田線/新宿線、または東京メトロ「神保町」駅[A5]出口より徒歩8分。
- 駐車場は併設されておりません。車を利用される場合には付近の駐車場をご利用ください。

<団員募集>

—— あなたも日本語でバッハを歌ってみませんか? 資格や経験は問いません ——

- ◎2020年末には、《クリスマス・オラトリオ》第1部-第3部の上演(フル編成・全曲)を予定しています。ふるってご参加ください。見学歓迎(※)。
- ◎練習日/会場(毎週の土曜日と月曜日。どちらへの練習参加もご自由です。年明けの練習は、第2週、1/6(月)、1/11(土)から始まります。
 - ・土曜日=15:30-17:30、日本キリスト教団荻窪教会(JR/地下鉄荻窪駅南口から徒歩8分、杉並区荻窪4-2-10)
 - ・月曜日=18:30-20:30、目白聖公会(JR目白駅下車、目白通り沿いを西へ徒歩5分、新宿区下落合3-19-4)
- ◎会費……入団金3000円、団費5000円(月額)(児童・学生は団費無料、30歳未満は半額) 詳細は<http://bachchor-tokyo.jp/>をご覧ください。
- ◎問い合わせ……東京バッハ合唱団事務局 office@bachchor-tokyo.jp (03-3290-5731) ※見学は事前にご連絡ください。日程・会場等の変更あり。